

3. 消化管の分泌

3-1. 口腔内消化

意義：食物を捕捉し、咀嚼により細碎し、嚥下後の消化を容易にする（物理的消化）

a. 捕捉 (prehension)

ウマ 「**口唇**」でつかみ、「切歯を露出」させ、草を「噛み切る」

ヤギ、ヒツジもこれに近い

ウシ 「舌（長い）」を出し絡めとる。飼料箱からは口唇

ブタ 「鼻」で掘り出し、下唇を使う

イヌ、ネコ 犬歯、切歯で噛み切る。

ニワトリ 嘴

b. 咀嚼 (mastication)

唾液と混和、細碎→ 嚥下が容易になる

咀嚼運動は咀嚼筋、舌、頬、口底、口蓋の共同運動、大部分は反射的に進行

ウマ（草食）多い

ブタ、イヌ、ネコ 少ない

c. 唾液 (saliva)

水分を与える→**咀嚼、嚥下を容易**にする

その他：抗菌作用、気化冷却作用、消化作用

唾液腺

d. 嚥下

口腔、咽頭、食道の複雑な協調運動によって胃に運搬する運動

口腔相（条件反射的）、咽頭相（咽頭に触れて反射）、食道相（蠕動運動）

上部食道括約筋、下部食道括約筋（逆流を防ぐ）